

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回4月の「てがたん」は4月10日(土)で、「桜に集まる生き物」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方々へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは4月3日(土)です。よろしくお願いいたします。

3月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→博物館前道路→水生植物園の藤棚→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2010年3月13日(土)/晴れ
- 参加者 37名(一般25名、子ども12名)
- 市民スタッフ 12名(伊東茂子、大屋貴義、岡廣志、玄地昭八、小泉伸夫、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、宮川光進、保田行弘、湯瀬一栄、吉田一博)
- 鳥博職員 2名(斉藤安行、村松和行)

観察記録 — 3月に観察した生き物リスト—

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ、アオサギ/カモ科：カルガモ、コガモ、オナガガモ/ハヤブサ科：
 チョウゲンボウ/キジ科：キジ/クイナ科：バン、オオバン/カモメ科：ユリカモメ、セグロカモメ/ハト科：キジバト/カワセミ科：
 カワセミ(声)/キツツキ科：コゲラ(声)/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/モズ科：モズ/
 ツグミ科：ツグミ/ウグイス科：ウグイス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ホオジロ科：ホオジロ、オオジュリン/アトリ科：
 カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/外来種や家禽：
 コバクチョウ、バリケン、アヒル、ドバト

【両生類】 ウシガエル、ニホンアマガエル

【昆虫・クモ】

チョウの仲間：キチョウ、モンキチョウ、キタテハ、アカタテハ、ヒメアカタテハ、オオミノガ、イラガ(まゆ)、キバラケンモン(幼虫)/
 カメムシの仲間：ナガメ、ヨコヅナサシガメ/カマキリの仲間：オオカマキリの卵のう/甲虫の仲間：コカブトムシ、コガタリハムシ、
 ナナホシテントウ、ナミテントウ/ハチの仲間：トックリバチの巣(種不明)

【花】

キク科：ノボロギク、セイヨウタンポポ、ヒメジオン、ハルノノゲシ/シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ/ナデシコ科：コハコベ、
 ミドリハコベ、ウシハコベ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ/アブラナ科：タネツケバナ、ミチタネツケバナ、オランダガラシ、ナズナ、
 セイヨウアブラナ(植栽)/キンポウゲ科：タガラシ、ケキツネノボタン、ヒメリュウキンカ(植栽)/アカネ科：キュウリグサ/カタバミ科：
 カタバミ、アカカタバミ、ムラサキカタバミ/タデ科：アレチギシギシ/ツバキ科：ヤブツバキ(植栽)/バラ科：ユキヤナギ、ウメ(植栽)/
 ミズキ科：サンシュユ/ (植栽)

【観察した代表的な食べられる野草】

キク科：セイヨウタンポポ、ハルノノゲシ、ヨモギ、フキ、ハハコグサ、ハルジオン/オオバコ科：オオバコ/セリ科：セリ/マメ科：
 カラスノエンドウ/アブラナ科：タネツケバナ、ナズナ、オランダガラシ、セイヨウアブラナ(植栽)/タデ科：アレチギシギシ、スイバ/
 ユリ科：ノビル/ナデシコ科：コハコベ、ミドリハコベ/トクサ科：ツクシ(スギナ)



今回のてがたんのテーマは「春を探そう」でした。春の七草の紹介や、食べられる野草など植物を中心に観察しました。先月まであまり見られなかった昆虫の仲間も観察でき、春の訪れを感じる観察会になりました。



今回の案内人
湯瀬一栄さん、弘貴さんと子さん



セイヨウカラシナ

よく似たセイヨウアブラナは葉が茎を包むようになっています



タネツクバナ

葉に辛みがあるのでタガラシやミスガラシとも呼ばれます



モンシロチョウの幼虫

シロツメクサにいた幼虫。幼虫の姿で越冬します



4

田んぼの畦ではキジを観察しました。



タムシバのつぼみ

コブシやモクレンと同じ仲間。東北地方に多く分布しています



キバラケンモン

屋久島以北に分布するがで、幼虫の体長は約5cmの幼虫でツツジ科やバラ科、ブナ科植物の葉を食べます。成虫になると白黒のマダラ模様で羽を広げると後ろ羽は白く、基部が黄色味を帯びています。てがたんコースでは初観察です。



3月の観察コースと見た生き物



ヒメオドリコソウとホトケノザの花

シソ科の2種は花が出るまでの幼芽の状態でもよく似ていますが、花も非常によく似ています。どちらも唇形花（しんけいか）といって根元が筒状で先が唇のように上下で分かれています。筒状の部分が長く、花の先端の下部分が、花粉を運ぶ昆虫が止まりやすいように伸びているのが特徴です。唇形花はゴマノハグサ科やシソ科の植物でよく見られます。



コカブトムシ

胸部がくぼんでいるのが特徴で昆虫の死骸などを食べます



植生帯の様子

沼内の植生帯にはキンポウゲ科の植物が繁茂していました



トックリバチの巣

ドロバチの一種で、春と夏に2回発生します



フキ（おそらく植栽）

葉柄やつぼみは食べれますが、地下茎には毒があるので注意



ノビル（球根）

てがたんコースでたくさん見られます。おいしい野草です

動物の足跡～アニマルトラック～

てがたん下見で道路沿いの畑の中にウサギの足跡を見つけました。ウサギは下の絵のように飛び跳ねて歩くので、特徴がある足跡が残ります。前に残る足跡は後肢で、後ろに残る足跡は前肢のものになります。動物の足跡を見つけたら、その足跡の主を調べてみると面白いかもしれません。



身近な動物の足跡例



イヌ

ネコ

ネズミ類

ヒキガエル類

引用文献：A FIELD GUIDO TO ANIMAL TRACKS